

「0」続く！今永3試合連続完封勝利

1回戦

2013年度春季リーグ戦
第2週 4月15日
3勝1敗

☆駒大1-0青学大

青学大 000 000 000 0
駒大 100 000 00x 1



1点を守り3勝目を挙げた今永
(写真:高橋成美)

先発の今永昇太(経3)は抜群の安定感を見せ、9回を5安打、10奪三振に抑え完封勝利。初回に挙げた1点を守り切り、勝ち星を挙げた

初回、2死三塁の場面で、江越大賀(法4)が中前適時打を放ち先制する。勢いに乗りたい打線だったが、その後は相手先発の岡野(2年)聖光学院)の好投の前に苦しみ、追加点を挙げる事が出来な

それでも先発の今永は「自分でも出来る」と話したように、伸びのある真つ直ぐの球を武器に相

手打者の多くを三振と飛球に打ち取り、5安打10奪三振で完封勝利。2回以降は二塁すら踏ませない庄巻の投球で接戦を制した。

3試合連続の完封勝利は、平成21年の春季リーグで、東浜巨(現ソフトバンク)が挙げた記録以来となる快挙。大記録を前にしても、今永は「そういう記録は破られるためにあ

打安点	
(5)砂川	300
(4)前田	310
(6)下川	300
(8)江越	311
(7)齋藤	310
DH米満	200
(2)木下	200
(3)巻木	310
(9)伊藤修	300
	2541
打安責	
○今永	3250

る。逆に楽しみながら投げれば良いと思う」と冷静かつ強気な姿勢を貫いた。

今永は1勝にとどまり苦しんだ昨秋とはうってかわり、完全復活ともいえる投球をみせている。その一方で打線は拓大との1戦目以降、3試合でわずか3得点と課題が残る。西村亮監督も「打線を工夫しなければ、これからは難しい試合となる」と厳しく評価した。

戦力はそろっている。「打撃の駒大」として、いかに打線が投手を援護できるかが、優勝へのカギとなりそうだ。

(文:藤本一輝)

2回戦

2013年度春季リーグ戦
第2週 4月16日
4勝1敗

☆駒大5-1青学大

片山1年ぶり白星！

駒大 021 000 020 5
青学大 010 000 00x 1

次戦、大一番...



2回、2死満塁から下川知弥(営4)の右前適時打で先制すると、3回、8回にも追加点を挙げる。3回から継投した片山雄貴(経3)は、7回3安打7奪三振無失点と好投し、昨春以来のリーグ戦勝利を飾った。

打線は2回、相手の失策も絡み、2死満塁の好機を作ると下川がアウトコースのスライダーを右前に運び、2点を先制。3回には齋藤導久(法4)、長谷川雄飛(法2)らの連打で1点を追加する。

打安点	
(5)砂川	510
(4)前田	520
(6)下川	332
(8)江越	400
(7)齋藤	431
DH長谷川	211
HD山口	100
(3)巻木	300
(2)高橋亮	300
(9)伊藤修	200
H9松尾	200
計	34104

▽二塁打=下川、齋藤

回 打安責	
谷中	2 920
○片山	7 2530

さらに8回、連続四球で2死一、二塁とする、この日猛打賞の齋藤が、右前適時打を放ち、一人生還する。右翼手の本塁への送球が逸れた間にも走者が帰還。2点を追加し、投手陣を援護する。

3回から継投した片山は「真つ直ぐも変化も低めに集めることが出来た」と7回を3安打に抑える投球を見せ、リーグ戦1年ぶりの勝ち星を挙げた。

これでチームの勝ち点は2。次戦の亜大戦で勝ち点を伸ばすことができれば、25年ぶりの優勝もみえてくる。

(文:中尾彬人)

↑コースを突いた好投で活躍した片山
(写真:藤本一輝)